

ハワイでの研修を終えて

8月5日から8月11日までハワイのSim Tiki シミュレーションラボに研修へ参加してきました。参加者は当院での初期研修を終えた4名です。

研修は2日間のスケジュールで、座学はほぼなく実習が8割程度でした。

1日目にはシミュレーションラボの説明に始まり、従来の気道確保ではなく Difficult airway での様々な気道確保の仕方を学びました。救命において最も優先される「Airway」ですが、実際にその現場に居合わせた際に、焦ることなく確実に気道確保できるようアルゴリズムに則りながらの device や方法の選択、そのような状況を生まないための事前の Airway の評価の仕方を学びました。

2日目は主に急変対応について学びました。当院でも RRS(RRT)が発足し、初期研修医2年目が first touch に関わる機会も増えてきておりますが、典型的な急変症例を通していかに患者さんの状態を安定化につなげるかについて実習しました。病棟からの call や患者家族との会話は全て英語であり、処置に焦りながらの英語でのコミュニケーションはなかなか難しいものでした。それに並行して内視鏡シミュレーターを使ってのタイムトライアルが行われ、当院の外科系2名は好成績を残していました。スタッフの方は皆気さくで、2日間を通して和やかな雰囲気の中で研修を楽しむことができたように思います。

3-4日目には台風が来てしまって大変ではありましたが、ハワイの文化を十分に堪能して無事帰路につくことができました。

今回このような非常に有意義な研修に参加させていただいた当院に深く感謝したいと思います。ありがとうございました。

下地 清史